

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2013年日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定により運営する。

2. 女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投・男女リレー種目と混成種目（8種、7種）はオープン種目（記録会方式）とする。

3. フィールド種目（走高跳、棒高跳は除く）は、3回の試技とする。

4. 招集について

(1) 選手は出場種目の招集完了時刻には必ず招集所にいること。

競技者係の指示に従い、ナンバーカード、腰ナンバーカード、スパイクシューズ等の点検を受けること。

(2) 代理人は認めないが、トラック、フィールドにまたがって同時刻に出場する選手は代理人をもって招集に応じ、代理人はその旨を競技者係に申し出ること。また、競技については本人がフィールド審判に申し出、トラックの方を先に行うこと。

(3) 招集完了時刻に遅れた場合は棄権とみなして取り扱う。

(4) もし、棄権する場合は必ず棄権届を提出すること。（プログラムの巻末にある）

(5) 招集時刻は下記の通りとする。

	開始時刻	完了時刻
トラック	30分前	20分前
フィールド	50分前	40分前

(6) 選手の招集は、雨天練習場で行う。

(7) リレーについては、招集完了時刻の1時間前までは競技者係まで提出すること。
（オーダー用紙は受付時に学校ごとに渡す）

(8) 混成競技については、第1日目、第2日目ともに第1種目については競技者係にて上記時刻に準じて行う。それ以降の種目は現地にてコールを受け（トラック10分前、フィールド20分前）、最終種目は招集所にて決勝招集時刻に招集を受けること。

5. ナンバーカードは、各自登録番号のナンバーカードをユニフォームに付ける。トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバーカードを招集所で競技者係から受け取り、パンツの右側後方に付ける。なお、走高跳・棒高跳に出場する選手は背部または胸部、走幅跳・三段跳は、胸部だけでもよい。

6. 棒高跳用ポール及び、やり以外は、競技場備え付けのものを使用すること。なお、やりの検査は、競技開始1時間前までに100mスタート側の倉庫前で行うので持参すること。

7. トラック競技のレース順、フィールド競技の試技順はプログラム記載通りとする。

8. 制限タイムを設定する種目は次の通りとし、それまでにゴールできない場合は失格とする。

種目別	男 5000m	男 3000mSC	女 3000m	男 5000mW	女 5000mW
制限タイム	19'00"	13'00"	13'00"	40'00"	40'00"

9. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、次の通りとする。()内は公式練習の高さ。

男子走高跳	決勝	(140) 145 150 155 160 165 170 175 180 185 190 193 (160) 以上 3cm きざみ
女子走高跳	決勝	(115) 120 125 130 135 140 145 150 155 160 163 (145) 以上 3cm きざみ
男子棒高跳	決勝	(240)240 260 280 290 300 310 320 330 340 350 360 370 (360) 以上 10cm きざみ
女子棒高跳		選手の実力に合わせて設定する
八種競技 走高跳	(145) 150 153 以上 3cm きざみ (180)	
七種競技 走高跳	(115) 120 123 以上 3cm きざみ (136) 141 144 以上 3cm きざみ	

10. 計測ラインについて

(1) 走幅跳・三段跳において、エントリー者数が 80 名以上の場合、競技運営上計測ラインを設ける。

(本大会では、男子走幅跳 5m00)

(2) 投てき競技において、エントリー者数が 40 名以上の種目においては、競技運営上計測ラインを設ける。

(本大会では、男子砲丸 8m00 男子円盤投 18m00 男子やり投 33m00)

11. ウォーミングアップは、補助競技場 (サブ・グラウンド) で行うこと。ただし、投てきの練習は、招集完了後、役員
の指示により競技場内で行うので補助競技場内での投てき練習は一切行わないこと。また、4 日 (土) は円盤投、
ハンマー投の競技があるので、安全上の配慮から練習及び競技中は審判員の指示に従うこと。

12. 使用するスパイクのピンは 9mm 以下の平行ピンとする。(ただし、走高跳、やり投においては 12mm 以下とする。)

13. この大会においては、それぞれの種目ですでに突破している者 (昨年度市内 5 傑及び春季大会 6 位入賞者) を除く 25
位以内の者と 25 位と同記録の者は京都高校選手権 (京都 I.H) に出場参加資格を得る。

14. その他

(1) 選手といえども自分が出場している時以外は、応援または、付添のために競技場内に立ち入らないこと。

(2) 本部席前は通行を禁止するので、許可された者 (補助員) 以外は通らないこと。

(3) 顧問及び引率責任者 (代理) の出席 (審判) なき場合は、選手の出場は認めない。なお、競技役員の受付を必
ず通過すること。

(4) テントの設置、旗、横断幕の取り付けは、スタンド中段通路より上部とする。ロイヤルボックスには立ち入ら
ないこと。(ガムテープによる取り付けをしないこと。)

(5) 各学校、ゴミは持ち帰りとする。